

No.2  
(H28.7月～9月)

# 林業普及通信



○お問合せ等

所属	所在地	連絡先
福岡農林事務所	〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目8-8 福岡西総合庁舎	092-735-6138
朝倉農林事務所	〒838-0068 朝倉市甘木2014-1 朝倉総合庁舎	0946-22-6585
八幡農林事務所	〒807-0831 北九州市八幡西区則松3丁目7-1 八幡総合庁舎	093-601-5567
飯塚農林事務所	〒820-0004 飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎	0948-21-4966
筑後農林事務所	〒833-0041 筑後市大字和泉606-1	0942-52-5188
行橋農林事務所	〒824-0005 行橋市中央1丁目2-1 行橋総合庁舎	0930-23-0388
農林業総合試験場 資源活用研究センター	〒839-0827 久留米市山本町豊田1438-2	0942-45-7868



## 「林地残材低コスト収集システム」の現地研修会を開催

林地残材とは、主伐や間伐が行われた現場で、利用されずに放置されている木材のことです。

木質バイオマスは温泉施設や一般家庭でボイラーやストーブに利用されていますが、再生エネルギー固定買取制度の導入後、需要が拡大しています。

こうした状況にありながらも林地残材は、収集や運搬のコストがかかることから利用が進んでいるとは言えません。

7月27日、管内の久山町の主伐地と間伐地において、県が考案した「林地残材低コスト収集システム」の現地実証を行いました。

まず高性能機械のアームの回転で長材、短材、枝条等に分別し運搬車への積み込みを容易にします。次にコンパネ簡易枠を運搬車に設置し、材の転落防止と積載量を増加させ収集効率の向上につなげます。

作業班からも新しいアイデアや提案が出るなど、収集システムの検証と今後への改善につながる有意義な現地研修となりました。



コンパネ簡易枠設置車両による収集作業



作業班への技術指導風景

# 朝倉農林事務所 林業普及活動情報

NO. 3

Tel : 0946-22-6585

Fax : 0946-21-0049

## 朝倉農林管内林業研究グループ連絡協議会総会を開催

朝倉農林管内林業研究グループ連絡協議会(管内3グループ)総会が、去る8月26日に開催されました。

管内林業研究グループの交流を密にし林研活動の活性化を図り、併せて林業技術の研鑽に努めることを目的に毎年実施されているもので、今年は朝倉市(旧杷木町)のらくゆう館で開催されました。

前年度事業報告及び決算、今年度の事業計画及び予算案、役員改選について審議が行われ上程案どおり承認されるとともに、平成28年度から2カ年の新体制で運営される運びとなりました。

議事終了後には、「シカ被害対策ユクリッドシステム及び路網対象製品のご紹介」と題して、日本林業土木株式会社の松永参与から講演をいただき、参加者からの熱心な質疑が出されました。

なお、朝倉地区森林・林業推進協議会シカ被害対策部会では、民国連携合同研修を計画しており、当該シカ被害対策ユクリッドシステム「誘鹿材(ユクル)」を使用した現地実習を下記により行います。

1 日 時 平成28年11月15日(火) 10:00～15:00  
2 場 所 東峰村小石原公民館及び角円国有林



総会の状況



講演の状況 (松永参与)

## 八幡農林事務所 林業普及活動情報

No. ( 3 )

問合せ先

Tel:093-601-5567

Fax:093-601-8863

### 第1回三里松原の保全整備に係る専門部会

岡垣町の「三里松原防風保安林保全対策協議会」において、三里松原の適正な管理、保全及び有効活用を目指し、松原の保安林機能並びに資源的価値を向上させることを目的に専門部会が設置されました。

(開催日:平成28年8月31日、部会員構成:地域代表者、学識経験者、関係行政機関職員※農林事務所、県林業振興課、自然環境課はオブザーバー)

第1回の部会では、樹木医で松枯れ研究に関する学識経験者でもある小河誠司氏が専門部会長に選任され、議事に沿って活発な意見交換が行われました。

意見交換後は、三里松原の現状を把握するために、保全活動を行ってきた現地や植栽後の状況を確認しました。また、クロマツが激減した後に樹林を構成していた広葉樹が枯損・衰退している現状なども確認しました。

本専門部会は、年度内に3回開催される予定です。



地域の自主的な保全活動現地(松葉かき)



クロマツの消失後、枯損が進む広葉樹

# 飯塚農林事務所 林業普及活動情報

NO. 4

Tel : 0948-21-4966

Fax : 0948-24-1134

## 平成28年度 筑豊地区特用林産振興会総会 開催

平成28年8月29日(月)飯塚総合庁舎にて、筑豊地区特用林産振興会総会が開催されました。

本地区振興会は、特用林産の振興並びに農山村地域の発展に寄与することを目的に組織された任意団体(事務局:飯塚農林事務所林業振興課)で、現時点の会員数は11名(森林組合等の団体と特用林産物の生産、加工等に携わる個人で構成)です。

当日は会長である仲道添田町椎茸生産組合長を議長とし、平成27年度事業報告及び収支決算について(第1号議案)、平成28年度事業計画及び収支予算(案)について(第2号議案)、役員改選(案)について(第3号議案)の議決を行いました。

会員以外の出席者である資源活用研究センターの特用林産担当専門技術員及び県特用林産振興会の安河内専務からの情報提供等を受けたことにより、会員相互の意識も高まったようであり、今後も地区での活動の活発化を図っていきます。



仲道会長挨拶



県特用林産振興会 安河内専務からの情報提供等

# 飯塚農林事務所 林業普及活動情報

NO. 5

Tel : 0948-21-4966

Fax : 0948-24-1134

## 建築家 妹島和世氏の講演会

平成28年9月24日(土)、いづかコミュニティセンターにて、筑豊地区木材協同組合が主催で、筑豊地区森林・林業推進協議会・飯塚市・近畿大学等が後援として建築家の妹島和世氏の講演会が開催されました。

妹島氏は、茨城県出身で数々の作品で受賞しており、最近では、岡山県の犬島で空き家や倉庫をリノベーションをしています。

約250名の参加があり、「環境と建築」をテーマで各国々、国内作品の紹介の説明があり、参加者の皆様は、大変関心を持って聞いておられました。

建築関連業の方、将来、建築関係等をめざす学生の方々には、良い刺激になった話と思われます。



妹島和世氏講演会

愛される風景を生み出す建築家 妹島和世が語る

### 「環境と建築」 -地域を活かす-

KAZUYOSEJIMA 妹島和世

日時/会場  
2016.9.24 ●  
受付開始 9:30~  
講演 10:00~11:30

いづかコミュニティセンター  
学習室401

主催 2016 筑豊地区木材協同組合(株)・飯塚市 / 後援 近畿大学

〒770-8585 岡山県津山市津山1-1-1  
TEL 0864-22-1274  
FAX 0864-22-1275

TEL 0948-21-4966  
FAX 0948-24-1134

〒800-8585 岡山県津山市津山1-1-1  
TEL 0864-22-1274  
FAX 0864-22-1275

# 筑後農林事務所 林業普及活動情報

NO.2

問い合わせ先

TEL 0942-52-5188

FAX 0942-52-5994

## 木質バイオマス資源の活用促進のため

### 大型チップーの見学会が開催される

木質バイオマス資源の有効活用のため、八女市黒木町の「野田山ストックヤード」で稼動を始めた大型チップーの見学会が、平成28年8月5日に実施されました。

福岡県八女森林組合では、未利用資源である枝葉や端材、傷・腐れ材等の収集を平成27年11月から(株)九州パーク運輸の協力のもと始めています。

現地には大型チップーとトラックスケールが設置され、当初は試験的な取り組みでしたが、見学会を契機に森林所有者に公開し、さらには持ち込みも可能とする仕組みも発表しました。 ※トラックスケール：トラックの貨物重量を計測、記録する計量機器

昨年度の実績は5,500t、本年度は10,000tに達する見込みです。

現在、八女市域における木質バイオマス発電所の設置も検討され、森林所有者が自ら伐採した木材を持ち込む意識も高まっています。

今後、広大な森林資源を有する八女地区に合った木質バイオマス資源の活用について、関係者とともに課題を解決しつつ、林業普及指導員として導いていきたいと考えています。





# 行橋農林事務所 林業普及活動情報

No. 2



〒824-0005  
行橋市中央1丁目2番1号  
行橋農林事務所 林業振興課

問合せ先  
Tel : 0930-23-0388  
Fax : 0930-23-7861

## 京築ヒノキのフローリングを製作中！

行橋地域森林・林業推進協議会では、特産の「京築ヒノキ」の知名度アップと利用促進を図るため、「京築ヒノキフローリング」の製作に取り組んでいます。

昨年度、材料として豊前市から市有林のヒノキ26立方メートルをご提供いただき、大川市のウエキ産業(株)で製材・乾燥・加工を行い、本年9月、先行してS品、A品各1坪分が納品されました。

ヒノキ特徴を生かした美しい仕上がりで、今年度、120坪分(S品約40坪、A品約80坪)が納品される見込みです。

製品は、豊前市の市営住宅や地域材を利用したリフォームモデル現場での使用のほか、少量ですが一般販売も予定しています。

今後は、今回の取り組み通じて得られる製品歩留りや製作コスト等のデータを検証し、製造や販売方法等を検討してまいります。



製材後、乾燥中のヒノキ板



完成したS品(左)とA品(右)フローリング

# 福もい通信 No.11

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課  
Tel : 0942-45-7868  
Fax : 0942-45-7901

## 第54回 福岡県林業研究グループ連合会 通常総会

7月7日(木)に 資源活用研究センターにおいて「第54回福岡県林業研究グループ連合会通常総会」が盛大に開催されました。

福岡県内の林業後継者47名がにぎやかに参集し、平成28年度の事業計画などの議案が次々と承認されました。役員改選では、副会長が一人追加され、新たに女性会員の西田裕子さんが副会長に選任されました。吉村正春会長をはじめ、中司勝万副会長、久保田栄三郎副会長は再任され、新しい風が加わり、今年も活発な活動が見込まれます。

当日、全林研連が行う熊本地震の林研への支援として、募金を集めたところ、各林研グループや林研会員から105,358円の協力が得られました。

また、総会後に、林業研究グループの活動発表会が実施されました。今年の「九州地区交換研修大会」で発表する「福岡市林業研究グループ」の馬名木(まなぎ)会長の真剣なプレ発表に対して、活発な意見が述べられました。福岡県の代表として、入賞に向けおおいに期待したいと思います。



吉村会長 (糸島市林研) あいさつ



活動発表 (福岡市林研)

# 福もい通信 No.12

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 平成28年度 森林づくり活動安全講習会（下刈）

ボランティア団体を対象にした下刈に関する安全講習会が開催されました。  
(7月2日(土)・刈払機、7月16日(土)・手鎌)

刈払機作業は、当センターでメンテナンス方法や安全な取扱いについての講習会、手鎌作業は、講習会を運営している「特定非営利活動法人 山村塾」の事務所「えがおの森(八女市黒木町)」で、鎌の手入れ(刃研ぎ)や下刈実習等が行われました。

また、下刈作業では、熱中症や蜂刺され、ダニやマムシにも要注意ですので、その安全対策について注意喚起を行いました。

下刈は、真夏の炎天下で行う作業で林業の中でも最も過酷な作業となっています。夏バテしないように体調を整えることが重要で、バランスの良い食事や十分な睡眠を心がけ、無理をしないことが大切です。

(参考) 森林づくり活動安全講習会は、「福岡県森林環境税」を活用した事業です。



刈払機のメンテナンス



手鎌の刃を研ぐ講習生

# 福もい通信 No.13

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 平成28年度 原木シイタケ伏せ込み地診断概要

6月中旬から7月上旬にかけて、今年植菌伏せ込みした原木の状況を県内26か所について調査しましたので、その概況について報告します。

### ① 活着

全体的に良好。春先(4・5月)の降雨が多かったこと、気温も平年より高く推移したことが好条件となり、種駒の頭が白く発菌。ほだ木の木口の菌糸紋も例年より多くみられ、樹皮面にまで発菌が見られた。

### ② 菌糸伸長

全体に生木状態のほだ木が多く、芽が出ているところも一部見受けられた。材表面では駒と駒の間がつながるなど順調なところもあったが、全体としては遅れ気味であった。原因は、梅雨入り以降の降水量が平年の150～200%で日照不足などによる辺材部の水抜けが遅れたため。今後は、ほだ木の天地返しや積み替えを行って材内水分を抜くことが重要。

### ③ 害菌

高温多湿等蒸れが原因でクロコブタケ・緑色トリコデルマが発生。また、今年の傾向として、ゴムタケ・ダイダイタケ・クロコブタケが全体的に多くみられ、シトネタケ・ニマイガワ菌・胴枯れ菌などの乾性害菌は少ない。また、2年ほだ木に悪性害菌ラクテア(原木内のシイタケ菌が急速に死滅、接触性伝染力が強い)が2か所で発生(添田町・上毛町)。今年のほだ木についても、梅雨明け以降大発生の可能性があるので見回りが必要。

### ④ 害虫

生木原木が多かったことからキクイムシの発生が多かった。形成菌2年ほだ木にシイタケオオヒロズコガ等による植穴食害発生が見られ、防虫ネット・成虫の捕獲(LED誘蛾灯)などによる防除が必要。



仮伏せ (棒積・遮光ネット掛け)



断面 (菌糸伸長状況)

# 福もい通信 No.14

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課  
Tel : 0942-45-7868  
Fax : 0942-45-7901

## 福岡県フォレスター等連絡協議会 視察研修

福岡県フォレスター等連絡協議会では、各種研修を実施しており、今回は視察研修に行ってきました。(7月28日～29日 京都府)  
視察先と主な内容は次のとおりです。

- ①日吉町森林組合 …提案型施業(森林施業プランナーの役割)について
- ②京都府立林業大学校 …林業の人材育成について
- ③京丹波町役場 …森林資源量解析化システムの導入(住友林業(株))
- ④京都木材会館 …純木造4階建て施設の見学

上記視察先では、先進的な事例や取組みについて丁寧に説明していただき大変有意義な研修となりました。当県の森林林業の推進に大いに役立てていきたいと存じます。

\*福岡県フォレスター等連絡協議会とは

… 森林総合監理士等の資質の向上並びに関係者との連携を図り、活発なフォレスター活動を推進することを目的に平成27年3月に設立。  
現在の会員数は、42名。(県職員40名、福岡森林管理署職員2名)



提案型施業 (日吉町森林組合 湯浅 副組合長)



研修参加会員

# 福もい通信 No.15

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課  
Tel : 0942-45-7868  
Fax : 0942-45-7901

## 平成28年度 森林作業道作設オペレーター研修

本研修は、「簡易で丈夫な森林作業道作設技術」を有するオペレーターの育成を目的に(一社)フォレスト・サーベイと福岡県が共催で平成22年度から実施しています。

今年度は、8月2日～5日までの4日間、5名の研修生で実施しました。

研修内容では、座学(森林作業道作設指針について)～現地踏査～実習(基本土工、応用土工)までを行いました。

今回は経験年数の短い研修生が多く、講師陣(新誠木材 横尾氏、不二納事 吉元氏)の高度な技術に衝撃を受けるとともに、重機の操作や伐採の安全作業についての熱心な指導に大変感銘を受けていました。

8月の猛暑の中での研修ではありましたが、この研修で学んだことは大きな財産になったのではないのでしょうか。

これで、本県の研修修了者は48名となり、これからも更なる技術力の向上を目指し、地域内での指導者として活動していただきたいと期待しております。



座学 (壊れない道づくり)



実習 (段切・段盛)

# 福もい通信 No.16

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 「山本校区チャレンジ教室」の小学生来たる

8月19日 久留米市 コミュニティセンターが主催する「山本校区チャレンジ教室」で小学生 11名 が当センターを訪れました。

まずは、イチヨウやカエデ等の押し葉で作る「しおりづくり」にチャレンジ。子供たちは楽しそうに、それぞれの個性あふれるしおりを一生懸命作っていました。

施設のロビーにある展示物の中では、マツを枯らす原因となる「マツノサイセンチュウ」を顕微鏡で大変興味深くのぞいていました。

また、自分たちが住む山本校区を一望に見渡せる「給水塔(研究棟)」が、みんなにとっては人気の場所だったようです。

樹木園では、「針葉樹・落葉樹ゾーン」を観察しました。アブラゼミが樹木にたくさんとまっていたので、子供たちは樹木より虫の方が気になる様子でした。

コナラやミズナラには、クワガタやカブトムシが樹液を吸いに集まってくるのだと説明するとさらに目を輝かせていました。

今回の来訪で、森林・林業に少しでも興味をもってくれたのではないのでしょうか。そしてこの中から、林業へ就職する子供がひとりでも出てきてくれたらいいなと思います。



樹木観察



しおりづくり



「マツノサイセンチュウ」とは？

# 福もい通信 No.17

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 福岡県フォレスター・森林施業プランナー合同研修会

昨年に引き続き、本県のフォレスター・森林施業プランナー合同による技術研修会を、8月23日に福岡西総合庁舎で開催し、合わせて62名が参加しました。

午前中は、“将来の森林管理の姿を考える”をテーマに、まず本県で検討中の次期GIS構想についての説明を農山漁村振興課酒谷主任より行い、現場で使い勝手の良いシステムなどについて、グループワークを行いました。

午後は“低コスト作業システムについて考える”をテーマに、低コスト施業の意義についてセンター専技より説明、また併せてセンター研究部で作成した「林地残材収集運搬の手引き」について説明を行い、午前中と同様にそれぞれ現場で進めるうえでの課題についてグループワークを行いました。

各班が課題解決に向け熱心な議論を進め、多くの有用な意見が出ました。とりまとめた結果については今後の林務行政・施策に反映させるべく、何らかの形で皆さんにご報告できればと考えています。



各班でテーマごとにグループワーク。熱心な議論が行われた。



# 福もい通信 No.18

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課  
Tel : 0942-45-7868  
Fax : 0942-45-7901

## 第1回「福岡森林施業プランナーの会」総会

平成26年に発足した「福岡森林施業プランナーの会」の初の総会を8月23日に福岡西総合庁舎で開催しました。

森林施業プランナーを構成員とする会は全国的にもめずらしく、発足以降、会員の技術研鑽・交流のための研修会などを継続して行っています。(現在、本県では47名の森林施業プランナーがおり、本会の会員数も50名となっています)

総会では昨年までの事業報告と今年度の事業計画、ならびに役員の変更等について事務局より説明がなされ、いずれも異議なく承認されました。井上会長(朝倉森林組合)以下、役員はそのままです。

今後も本県の森林施業プランナーが地域林業の牽引役として活躍できるよう、本会では積極的な活動を推進していきたいと考えています。

※11月には、国有林と連携して「シカ被害対策」に係る研修会を開催する予定です。



井上会長のあいさつ



今後の運営の在り方が問われる

# 福もい通信 No.19

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 平成28年度 林業架線作業主任者講習

県と公益財団法人 福岡県水源の森基金との共催で「林業架線作業主任者講習」が9月1日より10月11日まで、実質17日間にわたり実施されてます。

当講習は、林業関係に必要な免許取得のための講習で、学科50時間、実技50時間、講習修了の際には試験が実施され、それに合格すると修了証書が交付されます。(免許取得には、2年以上の架線作業の業務に従事した経験が必要です。)

学科では、時折訪れる睡魔にも負けず熱心に受講されてましたが、力学等の計算には大変苦慮しておりました。

実技は、当センターの試験林で、実際にダブルエンドレス式の架線を設置します。今回の受講生は3名と少なく、また架線集材の経験が浅くてかなり戸惑っていましたが、(株)クリエイトやベ 栗原英樹 講師の熱心な指導の下、無事設置することができました。

残すは、修了試験のみです。全員合格することを祈っております。



架線の模型を利用した座学



集材機の運転実習

# 福もい通信 No.20

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 第56回 林業研究グループ九州地区交換研修大会

9月8日～9月9日 長崎市において、九州各県の林業研究グループが集い、研修大会が開催されました。(本県林研グループから 19名 参加)

<主な内容>

### ①林研活動の実績発表

- ・福岡県からは 福岡市林業研究グループ 馬名木 会長 より「都市近郊における森林管理と林研グループ活動」をテーマに発表されました。  
都市部ならではの特徴的な活動で、全林研会長賞を受賞されました。

### ②特別講演

- ・長崎総合科学大学 林 名誉教授 より「都市と建築から見た長崎の魅力」についての講演。

### ③現地視察

- ・林間作物ハラン栽培地…東彼林業研究会による大変効果的な林間利用の取組み。
- ・旧波佐見中央小学校講堂(国指定有形文化財)…歴史的木造施設の見学

長崎県を始めとした各県の取組みに非常に感銘を受けた研修大会でした。今後の林研グループ活動の参考に大いに役立てていただきたいと存じます。



林研グループコンクール九州ブロック 表彰式



ハランの林間栽培

# 福もり通信 No.21

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 森林づくり活動安全講習会（チェーンソーの取り扱い）

特定非営利活動法人 山村塾 による今回の安全講習会「チェーンソーの取り扱い」が 9月10日 当センターで開催されました。

チェーンソー作業を行うボランティア 13名 が参加して、チェーンソーの基本構造、目立て、チェーンソーワークについて講習が行われました。

チェーンソーは、林業の中で最も災害の多い作業です。ボランティアの方々も十分注意して作業を行う必要があります。

本講習会は、安全作業に特化した内容で、3名の講師陣が指導に当たり、初めてチェーンソーを扱う者や多少の経験がある者等、レベルに応じた適切な指導がなされていました。

1月には、実際に山で間伐を行う「チェーンソー伐木造材作業～上級編」が行われます。安全作業を確実に身に着けたい方、是非、参加してみたい方が多いのではないでしょうか。



目立て実習



丸太切り実習

# 福もい通信 No.22

(農林業総合試験場 資源活用研究センター 林業普及通信)

総務・普及部 林業普及課

Tel : 0942-45-7868

Fax : 0942-45-7901

## 横架材に適したスギ原木の選木技術の普及

横架材※に適したスギ原木の選木技術に関する普及のための研修会を9月28日に、当センター及びうきは市(株)堤木材で開催し、製材事業者など19名が参加しました。

午前中はセンターにおいて、スギ原木の選木や製材加工(乾燥)に関する基礎知識の講義を行い、午後は選木技術の概要説明と、実際に現場での選木を参加者で実践しました。

従来、JAS材などで強度を指定された横架材を製材する場合は、製材事業者は原木段階で選木を行うことができないため、非常に非効率な生産を行っていました。

今回提案した選木技術は、原木の木口面をカナヅチで叩き、その際の周波数を計測して強度を推計するという簡単なものです。

実際に横架材を生産する事業者からは「選木により経営負担を低減できる」との声が聞かれ、有意義な研修となったようです。

今後さらに普及を図っていく必要があると思われます。

※横架材・・・木造住宅における構造材のうち、水平方向に使う梁や桁などのこと。たわみが生じないよう曲げに対する強度が必要。当センターでは、横架材に適したスギ原木の選木技術に関する研究(H24～27)を実証成果としてまとめています。



横架材選木技術の講義



参加者で選木を実践